事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール武蔵新城

公表日　2026年　1月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	職員の数が適切ではないと感じる日時もある。その場合は事前に子どもの想定される動きと安全を考えて対応できるようにしている。 玄関ホールに冷気が充分届かず、猛暑日が続いた夏季は来所者に申し訳なかった。今後の対策や改善は必須。 1・2:利用する子供の人数や動きの大きさにより、狭く感じてしまうことはある。また営業日によってはシフトの為、職員数が少なく感じることがある。部屋に関しては個室を使用したり部屋分けを事前に考えて工夫をしている。職員数は当日に出勤している職員で動けるように事前に動きの確認をして準備や対応に努めている。全体的に工事や職員による環境整備の工夫により過ごしやすくなっている。	夏の時期の玄関スペースの環境については、事務所内から冷気が送られるよう、サーキュレーターを設置したり、新しく冷風扇を購入し設置しているが、適切な温度等を保ち続ける難しさがあった。適切な環境を整えられるよう、改善策を本部と共に検討していきたい。 運営上必要となる人員体制は整っているが、職員の勤務形態によって適切とは言い難い日があることも事実である。 安全面等を配慮した運営ができるよう、職員間での事前の打ち合わせや相談は引き続き行っていく。併せて、より良い療育を継続して提供する為に、職員一人ひとりが健康に働ける環境を整えられるよう、人材確保にも力を入れていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	第三者評価は現在行っていない。 社内の研修だけでなく、体制が整えば社外の研修に参加する機会もある。 外部研修だけではなく、スクール内でスクール長によるNO.1宣言につながる研修を通して職員の意見や得意分野などを知り、療育に生かすことに繋げられている。	引き続き、研修や学びの機会確保に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0	日々のカンファレンスで子どもの様子を共有し、同じ活動を継続したり、同じねらいで別の活動に取り組むなど、子どもの様子に合わせてプログラムを考えている。 必要な子によってねらいは継続としつつ提示する方法や物を変えて工夫していることもある。また、情報共有についてシフト制で直接伝えられない場合もあるが別のツールを用いたり伝言をするなどの工夫をしている。	引き続き、同様の内容を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	地域の子どもと活動する機会は施設の特性上設けていない。他事業者や地域のイベント、研修などがあれば掲示している。保育園や幼稚園、きっずサポートや療育センターなどと連携をとっている。 地域の中で交流する場を設けることは難しいが、他事業者のイベントのチラシを掲示して案内をすることはあった。スクール内でペアトレを行うことはなかったが、保護者に向けた研修に関してもあれば廊下に掲示している。	各関係機関との連携は、今後も同様に取り組んでいく。 保護者向けに、アンケートを実施するなどし、その内容を周知することで、間接的な保護者同士の交流の場となるよう毎月のお手紙に掲載して発信することを続けていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7	0		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者会として改まった場面を設けることはしていないがグループの振り返りで話をする機会はあった。 地域住民を招待することは難しいものの、きっずサポートの人がスクールに来たりして連携を図ったことはある。	保護者向けに、アンケートを実施するなどし、その内容を周知することで、間接的な保護者同士の交流の場となるよう毎月のお手紙に掲載して発信することを続けていく。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		